

科目名	実学入門II				
担当教員名	神保 雅人				
学部等	全学共通科目	開講学期	2026年度秋学期		
ナンバリング		学年	1年	単位	2単位
副題	「治道家」になるための実学総合探究				
科目情報補足					
事前に履修することが望ましい科目					
この科目を通じて身につける能力要素					
全学共通の能力要素	<2025年度以降入学者>批判的思考【○】、生涯学習の基盤となる知識・技能【◎】				
学部固有の能力要素					
能力要素と授業内容の関係	CUCベーシック科目の総合復習に取り組み、様々な社会事象に関するテーマについて探究することで、生涯学習の基盤となる学びの視点や方法についての視野を広げ、自ら学ぶ姿勢と基礎的な教養・技能を修得する。				
能力要素の詳細	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html （2024年度以前入学者のCUC6つの能力要素は、「全学共通の能力要素」に記載します）				
科目概要					
「実学」とは一般的に「実用的」「応用的」な学問を指し、社会の発展に役立つ知識や技術を学ぶことを意味する。千葉商科大学では一般的な意味だけではなく、「新しい実学」として、建学精神に基づいた良識ある「治道家」育成のための学びを掲げている。「実学入門II」は、春学期のCUCベーシック科目の総合的復習を実践し、SDGsをはじめとした多様な社会事象に関するテーマ探究を通じて主体的に学ぶ基礎的姿勢を修得することを目指す。これを通じて、自分自身の興味・関心を広げ、社会課題に対する多角的な視点や学びの方法の重要性を理解し、二年度以降の専門的な学びへの接続を目指す。					
この科目の学修目標					
CUCベーシック科目の基礎知識と諸能力を体得し活用できるようになること。生涯を通じた主体的な学びへの基本的な姿勢や態度を身につけること。2年度以降の専門的な学びへの関心を広げ、様々な社会事象に対するテーマについて自ら学ぶ意識を育てること。					
授業の特徴（指定科目のみ掲載）					
クラスでの主体的・共同的な探究を基礎としたグループワークを中心とする。各回のミッションに対して、協同的に取り組み、互いに支援しあい、課題解決に取り組む。					
履修上の注意					
春学期に学んだことの実践的な復習の機会でもあるので、その都度、必要となる知識や取り組みを振り返り、苦手なことでも、とりくんでみる姿勢をもつこと。					
実務経験を活かす授業		実務経験内容等			
PC必携	○	使用するソフトウェア等	Microsoft Teams, Word, PowerPoint等		
データを活用する授業					
データ分析を行う		外部機関（企業等）のデータ活用する		その他	
アクティブ・ラーニングの要素					
グループワーク	○	プレゼンテーション	○	実習、実技、フィールドワーク	
PBL（課題解決型学習）	○	双方向型学修（クリッカー等）		ディスカッション・ディベート	○
反転授業		その他			
授業計画					
授業回	各回の概要		各回の事前事後学修		事前事後学修時間
第1回	実学入門II ガイダンス:CUCベーシックの総復習とテーマ探究「学問の扉」		事前：春学期のCUCベーシック科目の復習 事後：図書館探索ワーク		3.5 時間
第2回	実学ワークショップ（1）いのちと生活：資料講読と問いの設計		事前：テーマ（1）に関連する資料講読 事後：テーマ（1）に関連するレジュメ作成		3.5 時間

第3回	実学ワークショップ（１）いのちと生活：調査と議論・発表準備	事前：テーマ（１）に関連する調査・分析 事後：テーマ（１）に関連する調査・分析・レジュメ作成	3.5 時間
第4回	実学ワークショップ（１）いのちと生活：調査発表・まとめ	事前：テーマ（１）に関連する資料作成 事後：テーマ（１）に関連する資料整理	3.5 時間
第5回	学部学科別コース選択相談会	事前：各学部学科に関連するテーマ調査 事後：各学部学科に関連するテーマ調査	3.5 時間
第6回	実学ワークショップ（２）社会と経済：資料講読と問いの設計	事前：テーマ（２）に関連する資料講読 事後：テーマ（２）に関連するレジュメ作成	3.5 時間
第7回	実学ワークショップ（２）社会と経済：調査と議論・発表準備	事前：テーマ（２）に関連する調査・分析 事後：テーマ（２）に関連する調査・分析・レジュメ作成	3.5 時間
第8回	実学ワークショップ（２）社会と経済：調査発表・まとめ	事前：テーマ（２）に関連する資料作成 事後：テーマ（２）に関連する資料整理	3.5 時間
第9回	振り返りと中間レポート作成	事前：テーマ（１）（２）に関連する考察・まとめ 事後：テーマ（３）に関連する探究準備	3.5 時間
第10回	実学ワークショップ（３）地球と未来：資料講読と問いの設計	事前：テーマ（３）に関連する資料講読 事後：テーマ（３）に関連するレジュメ作成	3.5 時間
第11回	実学ワークショップ（３）地球と未来：調査と議論・発表準備	事前：テーマ（３）に関連する調査・分析 事後：テーマ（３）に関連する調査・分析・レジュメ作成	3.5 時間
第12回	実学ワークショップ（３）地球と未来：調査発表・まとめ	事前：テーマ（３）に関連する資料作成 事後：テーマ（３）に関連する資料整理	3.5 時間
第13回	実学探究レポートの作成及び総括	事前：すべてのテーマに関連する考察・まとめ 事後：発展的探究のための準備・復習	3.5 時間

成績評価の方法	授業貢献度（参加態度および課題提出：５０％）＋実学探究レポート（５０％）に基づく総合判断
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	各回授業のはじめに担任教員から前回の振り返りとミッション達成状況についてフィードバックを行う
テキスト・教科書	「実学入門Ⅰ」「情報入門」のテキスト『千葉商科大学 アカデミックリテラシー』に準拠する
参考文献	適宜授業中に指示する